

NPOが高齢者向け講座

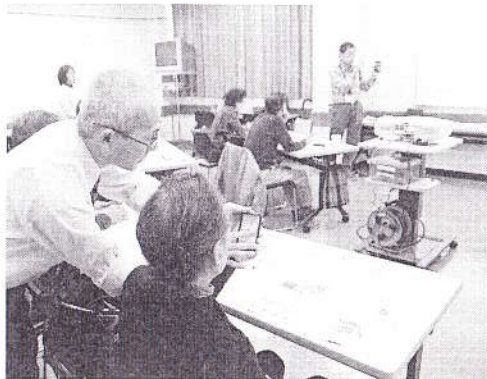
普及が進むスマートフォン（スマホ）。高齢者の間でも、じわりと浸透し始めました。便利な機能を使いこなしてもらおうと、シニア向けのスマホ教室が各地で開催されています。

「画面の上の部分をタップ（軽くなぐ）して、下に下げてみましょう」。講師が促すと、受講者は一斉にスマートフォンに触れ、指を動かしました。東京都三鷹市の三鷹市市民協働センターで、このほど開催された「さわってかんたん！スマートフォン初心者講座」の光景です。

同講座は、昨年の秋からスタートしました。主催するのは、特定非営利活動法人（NPO法人）シニアSOHO普及サロン・三鷹。テキストは、スタッフが自作で作成したものです。この日は、シニア世代の男女10人が受講しました。

講座では、1人に1台

便利なスマホ使いこなそう



スマートフォンの操作を学ぶ参加者—東京・三鷹市

通話やカメラ、地図の操作法学ぶ

ずつ、スマートフォンが貸し出されました。講師の今安知成さんと受講者が一緒に操作します。時には、3人のアシスタントがサポートに当たりました。

スマートフォンは、従来の携帯電話と違い、ボタンがほとんどありません。主に画面に直接指を触れて使用するため、操作が瞬時にできますが、慣れが必要です。講座では、電話をかける手順から習い始めます。初めは恐る恐るスマホに触れていた参加者でしたが、電話がつかないと全員がほ

つとした表情に変わりました。通話した後は、通話履歴の表示や、電話帳への電話番号の登録の方法も学びます。時間がたつにつれ、少しずつスムーズに操作できるようになっていきました。次に、学ぶのは写真撮影の方法です。スマートフォンは撮った写真を画面で確認できます。サイズの拡大や縮小を指先で簡単にできるのも特徴の一つ。撮影した写真をメールに添付し、文章を付けて送信す

る操作も習得しました。

目玉は、音声入力を活用した地図の利用です。地図用の画面を立ち上げ、参加者がスマートフォンに向かって「カミナリモン」と話すと、東京・浅草の雷門周辺の地図が表示されます。さらに地図を拡大し操作すると、実際の雷門の画像がスマホの画面上で確認できました。参加者からは「見えた」と歓声が上がっていました。

講座の最後には今安さんが、個人情報流出する危険があることや、不正な動作をもたえず恐れのあるインターネットの

サイトは見えないよう、注意を呼びかけました。講座に初めて参加したという女性は、昨年11月にスマートフォンを購入したものの、使いこなせずにいました。これから写真を撮って送ったり、新聞もスマホで読みたい」と目を輝かせていました。

情報流出の危険性も学習

スマートフォンを買うかと思いついたという65歳の男性は「実際に触りながら質問できて参考になった」と満足げな表情を浮かべていました。

今安さんは、「スマホは画面が大きく、音声入力もでき、慣れると使いやすい。カメラや録音機能も充実しており、簡単なメモ代わりに使っても便利。高齢者に優しい機能が充実している」と、活用を勧めました。

なメモ代わりに使っても便利。高齢者に優しい機能が充実している」と、活用を勧めました。

シニア世代ならではの意見、提言、体験、人生の知恵などをお寄せ下さい。▷400字以内▷郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記▷郵送先は〒160-8521 公明新聞生活情報部シニア係。FAXは03-3355-0453。Eメールはsenior@komei.jpへ。

原稿募集

いもいもき
ニーストロフ

今日はステキな秋電